

3 ごみから資源へ (ごみ減量時代の始まり)

①ものを捨てない生活

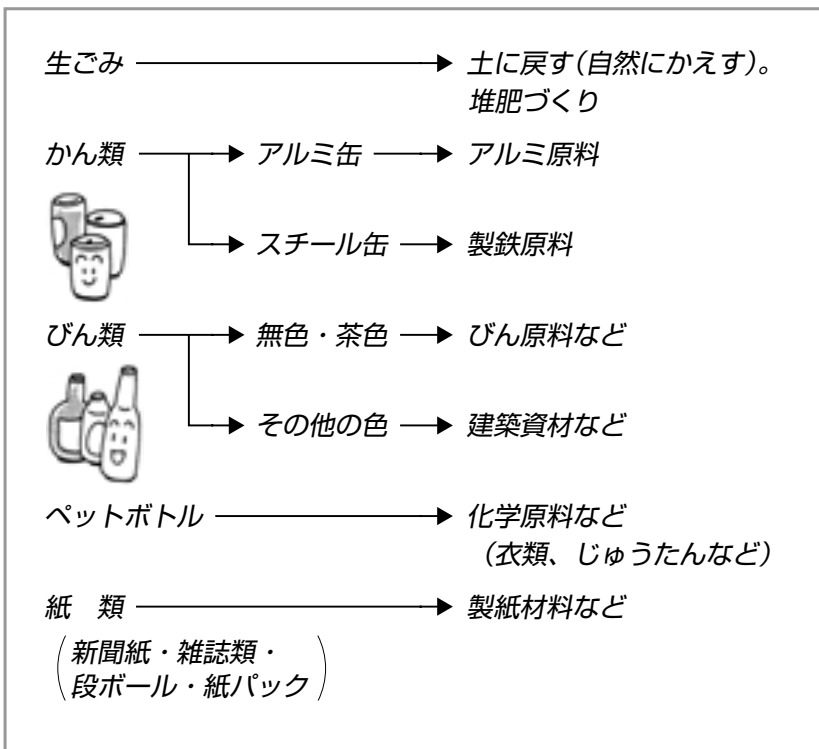
ごみとは、「不用になったもの」では、決してありません。

「自然にかえるもの」「再利用できるもの」は、ごみではありません。ごみを減らすことは、捨てるもの

を地球の自然にかえすこと。これは、もう一度、私たちが使えるようリサイクルに回すことです。もし、すべてのものが、そうなったら「ごみ」は、この世の中に存在しなくなります。

②ごみをよみがえらせる

ごみを分別すれば、確実に減らすことができます。



そればかりか「資源」として、生まれ変わらせることができます。

4 私たちがごみ減らしの主役 (私たちにできること)

私たちが、ごみを減らす主役です。その役割を果たすための取組みを

①リデュース (減量)

②リユース (再利用)

③リサイクル (再利用)

に沿って行い、ごみを出さない社会をつくっていきましょう。

①リデュース

ごみを出さない
ライフスタイル

ごみになるものを買わない、家庭に持ち込まない、使わない。

使うときには、修理などしながら長時間使う。

ごみとして出すときには、量をなるべく少なくしてから出す。

【例】

○商品の過剰包装を断る。
○バラ売りや盛り売りを選べるなら、トレーののったものは避ける。

○なるべく長く使えて、飽きのこない製品をじっくり選んで買うようにする。

○デパートの紙袋はまたらにもらわない。

○冷蔵庫での保存は、ラップで包まずふた付き容器を用いる。

○使い捨ての皿やコップ、スプーンやフォークの使用は控える。

○ノートやボールペンなどは最後まで使いきる。

○調理方法を工夫し、生ごみがなるべく出ないようにする。

○生ごみは水切りしてから出すほか、コンポストなどによる減量化など、リサイクルに努める。

②リユース

もう一度使う。
再使用しやすいものを選ぶ。

リサイクル製品を選ぶ。
もう一度使えるものは、そのまま捨てずに使用する。

なるべく再使用できる製品を選ぶようにする。

再生紙、再生プラスチック製品などのリサイクル製品を積極的に購入する。

【例】

○ノート類は、再生紙のもの

を選ぶ。
○シャンプーや洗剤は詰め替え用を選ぶ。

○裏が白いチラシは、メモ用紙に利用する。

○古くなった衣類、タオルやシーツなどの古布は、雑巾やぼろきれとして掃除の時などに利用する。

○ビールびん、一升びんなどは、洗浄して再使用できるびんは、販売店に返す。

③リサイクル

ごみの出し方のルールを守り、リサイクルのシステムづくりに協力する。

【例】

○アルミ缶、スチール缶、びん類、ペットボトル、紙類は、分別して決められた収集日に出す。

○使用済みの食品トレイは、店頭回収ボックスに出す。
○地域などの資源回収に参加する。

私たち一人ひとりが、みんなで協力して、「ごみを減らし、かけがえのないこの素晴らしい地球環境を守っていきましょう。」